



HPIに掲載している「和歌山だより」は、
こちらのQRコードからもご覧いただけます

令和5年度がスタート

今年度、当事業は事業着手から10年目の節目を迎え、職員も昨年より2名増の36名で頑張っています。昨年は、7月～9月にかけて台風の影響で大雨が降った所もありましたが、例年に比べ降雨量は少なく、大きな被害もなく安堵いたしました。しかし、引き続き気候変動から、いつ気象災害に見舞われるか分かりません。今年度の出水期から、名草排水機場[和歌山市]、藤崎井水路(山田排水路)[岩出市]、高嶋排水機場[紀の川市]等が供用開始され、既に供用開始した施設とともに排水効果の発揮を期待しております。今後も、豪雨等による地域の湛水被害の防止・軽減のため、残る施設の早期完成を目指してまいります。

事業所長 佐藤 毅

新たに着任した主な職員を紹介!!

(①役職 ②趣味 ③一言)

工事課



- ①工事第一課長
- ②温泉巡り、キャンプ
- ③5年ぶり2度目の勤務となります。よろしくお願いたします。

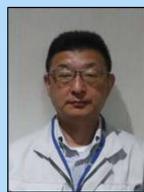


- ①工事第二課長
- ②将棋、釣り、映画鑑賞
- ③近畿局管内の勤務は初めてになりますが、一日も早く慣れ、皆さんとともに頑張ります。



- ①工事第三課 技術専門官
- ②甲子園で野球観戦、スキー
- ③初めての和歌山県、初めての単身赴任ですが、和歌山名産を食べて元気に頑張ります。

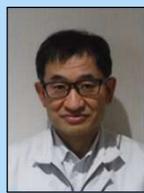
用地課



- ①用地第一課長
- ②スキー
- ③2度目の赴任となります。これからよろしくお願いたします。



- ①用地第二課長
- ②釣り、車中泊しながらの車旅
- ③忙しい事業所ですが、課内はもちろん、工事課とも連携を深め、楽しく仕事が出来ればと思っております。よろしくお願いたします。



- ①用地第三課長
- ②単身赴任を楽しむこと
- ③初めての農地防災事業、初めての和歌山県内勤務です。これからよろしくお願いたします。

工事の進捗状況をお知らせ!! 烏子川放流工【紀の川市】

紀の川市広野地区において、令和4年9月から工事していた小田井水路烏子川放流工が、令和5年3月に完成しました。

改修により、排水能力を約1.5倍に強化(1.20m³/s→1.75m³/s)したほか、ゲートを電動化することで、降雨時の小田井水路から烏子川への排水を、これまでより迅速に行うことが可能となります。

本施設は、今年度から供用開始することとしており、地域内における農地等の湛水被害の防止・軽減が期待されます。



豆知識

放流工って何?

大雨時等に、水路に流入した余剰の水を河川等へ放流(排水)するための工作物のことです。ゲート施設を操作し、水路の排水能力を超過しないよう、水路に流入した雨水を事前に放流工から河川へ排水することで、水路からの溢水被害を防止・軽減する効果があります。紀の川筋では水門(ゲート)を「柵」と呼ぶこともあります。

